

令和3年度障害者スポーツ 推進プロジェクト事業報告

目次

- ①令和3年度の取組
- ②実行委員会の開催
- ③障害者スポーツ指導者の養成
- ④障害者スポーツ教室
- ⑤和歌山市中之島小学校パラスポーツ体験授業
- ⑥障害者オンラインスポーツ大会
- ⑦成果と課題

令和3年度の取組

障害者スポーツを普及促進する3つの柱

障害者スポーツの受け皿となる指導員の養成

- 初級障害者スポーツ指導者養成講習会への参加を呼び掛け **R元**
- 和歌山県内のスポーツ推進委員に向けた指導者養成研修会の開催 **R3新規**

スポーツを始める意欲を持つ障害者の掘り起こし

- スポーツ教室を11月から12月まで開催 **R元・2・3**
- 障害者施設間でオンラインスポーツ教室を実施 **R3新規**

障害の有無に関わらず、共にスポーツを楽しめる環境づくり

- マーケットイベント等で障害者スポーツの体験会等を実施 **R2**
- パラアスリートによる講演会の実施 **R3新規**

事業	場所	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
初級障害者スポーツ指導者養成講習	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター			延期							
障害者スポーツ教室	東公園体育館						↔				
オンライン障害者スポーツ教室	つわぶき会 綜愛苑・綜成苑							●			
外部団体との連携(ones-future)	東公園体育館					●					
外部団体との連携(あいおいニッセイ)	中之島小学校							●			
障害者スポーツ推進実行委員会	市役所		●				●			●	

実行委員会の開催

委員構成

	団体名 役職
スポーツ団体	和歌山市体育協会 副会長 和歌山市スポーツ推進委員連盟 会長 和歌山市文化スポーツ振興財団 事務局長
障害者スポーツ団体	和歌山県障害者協会 常任理事 和歌山県障害者スポーツ指導者協議会 会長
障害者団体	和歌山市身体障害者連盟 会長
行政関連	和歌山市障害者支援課 課長 和歌山市保健対策課 課長 和歌山市スポーツ振興課 課長

開催日程

- 第1回：令和3年7月30日（金）
内 容：令和3年度事業内容の検討
- 第2回：令和3年11月22日（月）
内 容：事業中間報告
- 第3回：令和4年2月下旬予定
内 容：今年度事業報告

障害者スポーツ指導者の養成

和歌山県内で毎年開催している和歌山県スポーツ推進委員研究協議会において、障害者スポーツ指導者養成の研修会を実施。

開催日:10月30日(土)13時15分～14時30分

場 所:和歌山東公園体育館

目 的:地域のスポーツ振興の推進及びコーディネーターとしての役割を担う和歌山県内のスポーツ推進委員に対して、障害者スポーツ指導者となるうえで必要となる障害者とのコミュニケーション方法についての研修を行う。

内 容:相手を思いやるコミュニケーションスキル

参加者:和歌山県内のスポーツ推進委員 93名

講 師:上田 頼飛 氏
ONLYS wakayama 球団代表
認定NPO法人one-s future 理事長
デフバスケットボール男子日本代表監督



障害者スポーツ教室

日 程	時 間	参加者数(全種目計)	種 目 (定員 各種目10名)
11月30日(火)(平日・昼コース)	13:30~15:30	12人	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ
12月14日(火)(平日・昼コース)	13:30~15:30	10人	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ
11月30日(火)(平日・夜コース)	17:30~19:30	6人	パタンク・バスケットピンポン
12月14日(火)(平日・夜コース)	17:30~19:30	4人	パタンク・バスケットピンポン
11月 7日(日)(休日・午前中)	9:30~11:30	9人	パタンク・バスケットピンポン
12月11日(土)(休日・午前中)	9:30~11:30	23人	パタンク・バスケットピンポン・グラウンドゴルフ

計6回 開催

今年度のねらい

- ①昨年度に引き続き、平日の昼・夜、休日の午前中に開催時間を分け、参加しやすい時間帯を探る。
- ②障害の有無に関わらず参加できる。

令和3年度

体験会種目	参加者数
パタンク	23名
バスケットピンポン	7名
グラウンドゴルフ	34名
計	64名

令和2年度

体験会種目	参加者数
パタンク	8名
バスケットピンポン	7名
グラウンドゴルフ	30名
計	45名

- 初心者でも指導者や補助者がいれば障害の有無に関わらず一緒に楽しむことができた。
- 平日・夜の参加者が他に比べて少ない。
- 競技によって参加者に偏りがある。
- 新規参加者の確保が課題。

和歌山市立中之島小学校パラスポーツ体験授業

日 程：令和3年12月7日(火)

場 所：和歌山市中之島小学校体育館

講 師：秋田 啓(車いすバスケット)

参加者：和歌山市立中之島小学校
5年生(50名)及び6年生(38名)

協 力：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
和歌山県障害者スポーツ協会



パラリンピック
銀メダリスト
秋田 啓 選手

プログラム

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (1)講演(対象5・6年生) | 2時間目(9:45～10:30) |
| (2)実技・体験教室(対象5年生) | 3時間目(10:50～11:35) |
| (3)実技・体験教室(対象6年生) | 4時間目(11:40～12:25) |

障害者オンラインスポーツ大会

移動手段の確保が難しい参加者のために施設に赴いてスポーツ教室を開催するアウトリーチ事業を実施。
感染症対策のため、2施設をZOOMでつなぎ、2種目(玉入れ・ボッチャ)を競い合った。

日 程 令和3年12月13日(月)

時 間 10:00~12:00

場 所 つわぶき会 綜愛苑 及び 綜成苑

委託先 J:COM(機器接続・司会)

プログラム

10:00	オープニング
10:10	玉入れ競技開始
10:45	ボッチャ競技開始
11:30	表彰・閉会



玉入れ



ボッチャ(ターゲットマット)



「成果」と「課題」

「成果」

- トッパスリートが小学生に講演会及び体験会を実施したことで、障害への理解、障害者スポーツの認知に直結
- 指導者研修会を開催しスポーツ指導者に障害者スポーツに関しての理解を深めた
- 障害の有無に関わらずスポーツが実施できる場の提供を継続
- コロナ禍に配慮した事業の検討・実施

「課題」 新たな気づき・対策

- 情報共有の難しさ
→施設や支援学校に在籍されていない方への周知方法の検討
- 実施場所や開催時間の検討
→運動しやすい時間帯や移動手段の確保が難しい方が参加しやすい場所など、参加者のニーズを把握することの重要性
- オンラインで行う需要
→教室に来られない方でも参加可能
→障害者施設の協力が必要